

ビル・トッテンの講演でいただいたコメントに対する回答

(以下、質問文は太文字)

興味深いお話ありがとうございました。深圳などのスーパーシティは日本で実現すると思いますか？

トッテン：今回は深圳には行ってないのですが、ぜひ行きたいです。もし日本が、米国の命令で規制緩和、民営化などを始める以前の、60年代、70年代、80年代の政策に戻ることができれば、実現は可能だと思います。またマッカーサーが来る以前の、聖徳太子の時代からの道徳、倫理観を取り戻すことができれば！なぜ日本は急成長し、一帯一路構想で共に繁栄しようという中国ではなく、衰退を続ける米国を真似て言いなりになっているのでしょうか。

中国の良い点は理解できたが、政府関係者の腐った部分が多く感じられる点についても触れてもらいたかった。

トッテン：詳しく調べてはいないのですが、中国の地方の役人（党幹部や官僚）の汚職については私もよく聞きますが、中央政府については聞いたことはありません。しかし政府関係者の汚職については、私の母国である米国でも極めてひどいことを知っています。中国や、どんな国でも、腐った政府関係者がいても驚きません。むしろ、アフガニスタン、イラク、シリア、リビアなどの国々を侵略し、爆撃し、無防備な一般市民を殺害する米国政府は腐っていると思いませんか。または安全性よりも利益を優先するボーイング社のような米国企業をどう思われますか。

トランプは自国中心主義で軍事的なプレゼンスを減らそうとしていると思うがどうか？ J Aはアメリカの差し金で叩かれている。信用事業や共済事業を米国企業が手に入れるためと思う。こうした動きをどう見るか。また協同組合についてどう考えるか？

トッテン：トランプ大統領はプレゼンスを減らす方針を持っていると思います。しかし「ディープステート」（選挙で選ばれていない、しかし米国を動かしている影の政府のようなもの）と呼ばれる強力な反対者がいるために、トランプ大統領は自分の政策を実行することができないのです。日本が規制緩和や民営化を進めることはすべて米国通商代表からの対日要求に基づくもので、J A共済などへの要求もまったく同じだと思います。（米国政府にそれを要求しているのは、もちろん米国外資系保険会社です）

米国ほど、他の国の政策に内政干渉をする国を知っていますか？私は京都で100坪ほどの土地で家庭菜園をし、果樹を育て、鶏や食用ウサギ、ニホンミツバチを飼っていて J Aにはいつも大変お世話になっています。農業に関していえば、J Aは重要な役割を果たしていると思いますが、日本政府は日本の食料自給率を上げるための政策をとる必要があるのではないのでしょうか。（これは J Aの問題ではありませんが。）

全て共産党だから数字ではないでしょうか。

トッテン：中国は政府がすべきことと民間がすべきことの間でよいバランスをとっていると思います。交通、通信、土地、教育、ヘルスケアのようなものは「社会主義化」し、その他のことは民間企業に任せています。ところで、もし中国が「共産」主義なら、有権者の6割が選挙で投票しない国の「民主」主義とは一体何なのでしょう？

我々が客観的情報を得られていないからなのか、それとも聞いている中国は悪いと言う報道が嘘だからなのか、日本人のほとんどは中国に対して良いイメージを持っていないのではないか。日本、中国を含め、かつての大東亜構想とは異なる、アジアの共栄圏を構築していく必要があると考える。

トッテン：アジアの共栄圏構築、大賛成です！マスメディア（テレビや新聞）に客観的な情報を期待するのは難しいかもしれません。民間テレビは収益の100%を広告に依存しています。新聞も70%近くは広告からきています。そしてNHKは日本政府の管理下にあります。スポンサー（企業や政府）の思惑に反する事実は隠したいでしょうし、スポンサーが国民に信じ込ませたいことを主に報道するでしょう。インターネットには、様々な情報があり、中には間違いや嘘もあると思いますが、その中から情報を選んで取り入れるという姿勢が今後ますます重要になってくると思います。

経済アナリストによると中国の経済統計はかなり捏造されており、GDPはかなりあやしいといわれています。その証拠に他国との貿易（輸出入）の数字が合わないと言います。このあたり真実の程はいかがでしょうか。

トッテン：今回スピーチで使った中国の経済統計の出所は米国商務省経済分析局 (Bureau of Economic Analysis) や米国CIAなどで、中国が発表している数字を使ったスライドは1枚だけで、中国の実質GDP成長率は中国政府国家統計局からのデータです。数字が合わないのは、ジェトロの説明では貿易統計が輸出を仕向地主義、輸入を原産地主義で計上しており、香港経由の対中輸出（仕向地を香港としている財）が、日本の統計では対中輸出に計上されない、一方、中国の輸入統計には日本を原産地とする財がすべて計上されるなどの理由があるようです。

日本の輸出額に占める中国の構成比は2019年19.5%、輸入は23.2%と、貿易総額において日本の一番の貿易相手国です。信用できない国と、日本企業はこれほどの取引をするのでしょうか。

米国が日本を弱体化しているのはその通りだと思う。一方、中国も日本を侵略していると考えますがどう思いますか。尖閣列島問題、日本の半分を中国の日本州とする計画など。

トッテン：尖閣諸島は日本と中国が、共に自分の領土だと主張している島ではないでしょうか。もしそうであれば、それは両国同じ立場にあると思います。それが中国が日本を侵略しようとしているという意味であれば、日本も中国を侵略しようとしている、ということにならないでしょうか。中国が日本の半分を日本州にしようとしている話は初めて聞きました。その情報をどこで聞かれたのか、ソースを教えてください。幸いですが。

以上